

『命の大切さ』

小城市立小城中学校 3年 ^{やまぐち}山口 ^{ひな}陽菜

みなさんは、今生きてる理由について考えたことはありますか。そもそも生きる理由など必要なのでしょうか。私は最近歳頃ということもあるのか、今なんで生きてるんだろうと考えることがあります。何億人もいるこの世界でたった一人が消えても誰もなんとも思わないだろうと。ですが、学校へ行くと生きてて良かったなと思えます。なぜならば、生きる理由が友達と一緒にいることだからです。

友達って本当に大切な存在だと思います。よく友達と人生について語ることがあります。私はその話をするたび命について考えさせられます。その話しとは、命は神様からもらった最初で最後の贈り物です。その命から芽が生えて人生が始まりその人生をどうすごすのか。これは神様からの試練なのではないかと。この世界の人口は約78億人です。今読んでいるこの時間にも減ったり増えたりを繰り返しています。その78億人の中の私。命をもったなら、その命を簡単に捨てるのではなく、最後まで責任を持って生きようと。少し重い話しになりましたが、軽くまとめると78億人の中で人生という長い物語を生きているみなさんはとても凄いということです。辛いこと悲しいこと、沢山あると思います。ですが楽しいこと幸せなこともその倍あると思います。人生には辛いことばかりではなく、もし辛いことばかりだとしても後少し生きれば幸せなことが沢山待っているとあります。最近

SNS なども普及しており、難しい世の中になっています。この令和の時代でその SNS の誹謗中傷でなくなった方々は何人いるのでしょうか。誰かが発した言葉で一生の傷になる人もいます。最悪の場合死にいたる可能性もあります。いわゆる「アンチ」と言われるものです。せっかく人生を楽しんでいるのに、存在しているのがダメというようなコメントをしている人を見たことがあります。とくに世界で活動しているスター達には絶対とっていいほどアンチが多々います。カメラの前では辛い、悲しいなど感じさせない笑顔を見せてくれます。ですが一人になると泣いていると考えると心が痛くてたまりません。

私は今生きている自分を毎日えらいえらいと自分をほめています。他人から見たらただの変な人なのかもしれません。でも生きる理由を見つけた私はえらいと思います。辛いことも、悲しいことのりこえれば幸せがきます。人生は長いです。その長い物語を辛い人生のままにするのか、幸せな人生に変えるのか、それは自分次第です。たまには自分を自分でほめてあげてください。きっといい人生が待っていますよ。